

以下の覚え方は、択一問題を前提に考案したものです。人名を完璧に記憶する目的に考案したものではありません。 著作権:渡辺眞佐美 info@watanabe-sr.net				
NO	主要人名	ゴロ合わせ	キーワード	補足
1	アイゼンク	4つの歯のアイゼンを付けて不適応行動する人は、内向的因子分析特性論	行動療法、パーソナリティ特性論	内向性－外向性の因子＋神経症的傾向の因子。不適応行動パターン
2	アイビイ	アイビースタイルで折衷主義のマイクロカウンセリング 3技法は積極技法	マイクロカウンセリング	折衷、カウンセリング技法を分類階層化、中間3技法＝焦点のあてかた技法＋開かれた質問＋閉ざされた質問
3	アルダーファ	アルダーファ(α波)は3段階に統合したERG理論(エグジステンス、リレーション、グロース)	ERG理論	マズローの欲求区分を再編成→①存在、②関係、③成長
4	アンダーソン	アンダーシャツはメーシー百貨店で、精神科医の指導で買え	メーシー百貨店	行動の奥にある原因
5	ウェクスラー	スラーっと知能検査をクリアー	知能検査	WAIS: Wechsler Adult Intelligence Scale WISC: Wechsler Intelligence Scale for Children
6	ウォルピ	系統的脱感作法は骨をオル(折る)行動でアサーショントレーニングやシェーピング	行動療法	学習、強化、シェーピングや系統的脱感作法(レスポナント条件付による)。行動療法の先導的医学者として有名。 ラザラスとともに「アサーション・トレーニング」の基礎を築いた。 また、系統的脱感作法の開発にも携わった。
7	内田勇三郎		内田クレペリン検査	精神作業検査。作業曲線の裏に5因子＝意思緊張(集中持続)＋興奮＋慣れ＋練習効果＋疲労、性格特性
8	エインスワース	タバコをスワースと母子は別れるシチュエーションになる	ストレンジ・シチュエーション法	子どもが母親との別離・再会する場面での反応を分析
9	エドワーズ	エドワーズ空軍基地EPPS15の性格検査	EPPS(エドワーズのE)	マレーの欲求－圧力理論がベース。基本的欲求から達成、自律、支配、求護、変化など15の性格特性得る (E.Personal Preference Schedule)
10	エビングハウス	ハウスで文章完成テスト SCT	SCT	Sentence Completion Test:文章完成テスト。(1897年に知能測定に使用。忘却曲線、錯視など)
11	エリクソン	EHエリックはエイトの世代の伝承と自我同一性確立の発達課題と思春期のモラトリアム	発達課題 モラトリアム猶予期間	現実社会の中で役割や価値観を体得し「本当の自分」を自己定義して自我同一性を確立するのが青年期の発達課題 ①乳児期、②幼児期、③児童期、④学童期、⑤思春期／青年期、⑥成人期、⑦壮年期、⑧老年期
12	エリス	アリスは非合理的信念での論争が好き。論理療法で治す。レビット REBT	論理療法	認知を重視、非合理的信念に対して論争。REBT(Rational Emotive Behavior Theory)
13	オールポート	力道山は港に入っの社会生活で人格形成した	人格心理学 社会心理学 パーソナリティ特性論	パーソナリティとは、その個人に特徴的な行動や思考を決定する心理的・物理的体系の力学的体制である。 成熟した人格＝①自我の拡張＋②他人への暖かい関係＋③情緒の安定④現実認知と技能＋⑤自己客観化＋⑥人生観の確立――6つの条件 生活過程としてのパーソナリティ論⇒人格は社会生活によって形成される。自己内包的全体で外に開かれている。

以下の覚え方は、択一問題を前提に考案したものです。人名を完璧に記憶する目的に考案したものではありません。 著作権:渡辺眞佐美 info@watanabe-sr.net				
NO	主要人名	ゴロ合わせ	キーワード	補足
14	キャッテル	キャッツ4500匹の因子分析	因子分析。特性論	パーソナリティ特性:4500語から12対の源泉特性、躁鬱気質-分裂気質、支配性-服従性など。16PF人格検査 (特性因子論カウンセリング=分析→統合→診断→予後→処理→観察)
15	ギルフォード	ギル(盗む)するパーソナリティ特性はYGでテスト	YGテスト、パーソナリティ特性論	谷田部と共にYGテスト。12個のパーソナリティ特性 120の質問項目によってパーソナリティ特性を測定する12の尺度が構成されている。この尺度のプロフィールに基づいて性格が5つの類型で表される。
16	クライン	クライ人は精神分析すると対象関係で原始的防衛機制が働く	対象関係論	精神分析理論の1つ。部分対象関係から全体対象関係への移行期に理想化、否認など原始的防衛機制が働く。 自我と対象との関係のあり方の特徴を重視して、人間の精神現象を理解。
17	グラッサー	グラつく若者には7つの原理で現実療法。言い訳を許さない	現実療法、パーソナリティ類型論	精神科医、愛情or自己価値観の不足で精神的不適応。現在の満たされない人間関係に焦点。7つの原理。非行少年・少女を中心に、カウンセリングや心理療法を行い、その更生に力を尽くした
18	クルンボルツ	クルンクルンパーには行動カウンセリングで偶発性見つける	行動カウンセリング	学習理論や行動科学を基盤にして構築されたカウンセリング 計画された偶発性(Planned Happenstance)の概念を提唱した。
19	クレッチマー	体型と気質はクレッチまえ。類型論もユングにクレッチまえ	体型と気質。類型論	臨床精神医学、細身型、肥満型、闘士型、(発育不全型+その他)ノ躁鬱気質、分裂気質、粘着気質。躁鬱病←循環性格。「統合失調症」と「躁うつ病」は体型と関連
20	クレペリン		内田クレペリン検査	ドイツの精神医学者。内田クレペリン検査の元になる研究を行った。
21	ゴットシャルト	ゴッドファーザーは組織の層を重んじる	層理論	パーソナリティ=知性的上層+内部感情的基底層
22	ゴールドバーグ	GHQ(進駐軍)はゴールドバックを持って60項目の精神的健康度を測った	GHQ	the general health questionnaire。精神的健康度。神経症・心身症を中心とする心因性疾患の発見。60項目
23	コッホ	ゴッホはバウムクーヘンが好き(木を書く)。木の形を正確(性格)に	バウムテスト	木を書いてその形・位置から心理状態を検査。性格テスト
24	サイモンズ	サイモントガーファンクルは親の態度を2次元座標で考える	養育態度と子どもの性格	親の育児態度は2次元座標:(支配-服従)×(保護-拒否)、保護型の子は失敗感や劣等感を持つ。
25	ジェイコブソン	ジイコは漸進弛緩法でリラックスした	漸進弛緩法	体の末端から順番に、力を入れてから抜く方法で体全体をリラックス。不安はリラックスした体に宿れない。
26	ジェラット	ジェラシーで意思決定するな認知的不協和の解消が必要	意思決定理論	職業的意思決定モデル=目標の設定→情報収集→照合比較→○なら決定、×なら一時的決定として情報収集。認知的不協和理論を踏まえて不協和の解消が意思決定の過程であるとした。
27	ジェンセン	ゼニセン(銭銭)は敷居(閾値)が高い	環境閾値説	環境と遺伝は相互に影響し合う。心理特性は種類によって環境の関連の仕方が異なっている。
28	ジェンドリン	ドリンクでフォーカシングの体験課程	フォーカシング	体験過程の理論、ロジャーズの感覚的内臓的経験(sensory and visceral sensation)=フェルトセンス、ハンドル
29	シェイン	シェーンは映画でキャリアアンカー8種を決めた	キャリア・アンカー	内面的キャリア8種類、①専門職能②全般管理③自律独立④保障安定⑤起業独創⑥奉仕貢献⑦挑戦⑧生活様式
30	シュルツ	シュルツ国務長官は自律訓練法で7公式見つけた	自律訓練法	7公式=安静(背景公式)→重感(第1公式)→温感→心臓→呼吸→腹部温感→額部冷感(第6公式)

以下の覚え方は、択一問題を前提に考案したものです。人名を完璧に記憶する目的に考案したものではありません。 著作権:渡辺眞佐美 info@watanabe-sr.net				
NO	主要人名	ゴロ合わせ	キーワード	補足
31	シュテルン	ホルンの吹奏は輻輳した	輻輳説	遺伝と環境の輻輳によってパーソナリティが決定される。(Stern:問題集にシュルテンの誤植多い)
32	スキナー	スキナ人とオペラに行ってオペランド行動分析	行動分析	オペランド行動(オペラント条件付けによる行動)研究の基礎を確立
33	鈴木清ほか		GAT	General Anxiety Test:学業不振や問題行動などの原因となる子どもの不安傾向の診断検査。計100問の2件法
34	スーパー	スーパーでキャリアレインボー買って、職業発達理論を学ぶ	職業発達理論	ライフキャリアレインボー、職業的(進路)発達理論、国際教育・職業指導学会名誉会長。アーチモデルを提唱
35	セリエ	セリエAは3つのストレスラーを見つけた。警告反抗期、抵抗期、疲はい期。	ストレスラー	心身の負担になる刺激=ストレスラー。3つの症候群=副腎肥大、胃・十二指腸潰瘍、胸腺・リンパ腺の萎縮
36	ソーンダイク	ダイク(大工)が教育測定した	教育測定運動,オペラント条件付け	存在するものは量的に存在し、それは測れる。ハロー効果=ある面で優れている人を他の面でも優れていると考える傾向
37	ターマン	知能テストはタマンネー	IQ、知能テスト	知能検査を標準化、IQの概念を導入
38	ツァン(Zung)	ツァ者(ファンで覚えても良い)はうつもの自己評価尺度20項目考える	SDS:Self-rating Depression Scale	うつ性自己評価尺度、20項目×(1~4点)、正常:23~47、神経症:39~59、うつ病:53以上、 http://www.athp.jp/sds.html
39	テイラー	テイラーメイドは科学的管理とホーソウ工場	科学的管理法	時間研究、動作研究がベース、近代企業の経営管理の基礎。労使の真の利害は同一
40	デュセイ	エゴグラムはジュエツで	エゴグラム	CP・NP・A・FC・AC。TEG(東大エゴグラム)、SEG(自己成長エゴグラム)などのベース
41	ハー	ハー疲れた。職業選択に家族の干渉。社会的構造理論が良い	状況的・社会的構造理論	S.クレイマーと共にカウンセリング定義。職業選択への家族の影響。(Career Guidance and Counseling Through the Life Span。)
42	パールズ	バーだからゲシュタルト療法で全体的存在認識	ゲシュタルト療法	今、この経験に着目。人間=自己調節機能を持つ全体的存在。未完結の経験⇒全体性の妨害。未完の行為 - ホットシート
43	パーソンズ	キーパーソンはボストンで職業指導してる人で特性因子とマッチング	職業指導運動	マッチング理論、ボストン、社会体系論(社会の構成要素が相互依存して全体を形成→社会体系)。合理的な推論。特性因子理論。
44	バーン	バーンっとストローク打って交流分析	交流分析(TA)	自我状態、ストローク、ゲーム、脚本、自己理解+自発性+対人交流
45	バンデュラ	バン(車の)に乗って社会学習し、自己効力感を学ぶ	社会学習理論	観察学習やモデリングなどの社会的機能を重視。行動プロセスで自己効力感など認知の動きを強調。個人的達成 代理学習 言語的説得 情動的喚起
46	ハヴィーガースト	青年はガストでバイトし職業選択準備で9つの課題克服	青年期の9つの課題	ライフサイクル6段階、青年期の課題は幸福な生活の基本課題。社会に承認される形で達成が必要。各発達段階における発達課題および学習(教育)に取り組むことで、人は健全な成長を成し遂げるものと考えた。
47	バック	バック(鞆)に家、木、人(HTP)をいれ、人格テストする。人が入ってるから人格テスト	HTPテスト	House Tree Person Test。別々の紙に家屋、樹木、人を描かせ、どのような意味を持つかの質問をする。
48	ハーズバーグ	ハンバーグは衛生的に3要因説で動機付け	動機づけー衛生理論 満足要因と不満足要因	2要因説。2つの要因は独立で平行。やりがいのある職務で動機付けを主張(批判あり)
49	ハザウェー	ウォーターハザードでmm(ミリメーター)PINの精神状態550の多面人格を知らせる	MMPI。ミネソタマルチ	J.C. マッキンレーと共に開発。精神状態の検査。550の項目、臨床尺度10+妥当尺度4(ライスケール)
50	ビアーズ	ビアー(ビール)は精神衛生によく、わが魂に合う	精神衛生運動	わが魂にあうまで(A Mind That Found Itself)、コネチカット州精神衛生教会設立。
51	ビネー	ヨビネー(呼ぶ)フランス文部省の知能検査官	知能検査	フランス文部省の委嘱で医師シモンと共に史上初めての知能検査を開発。

以下の覚え方は、択一問題を前提に考案したものです。人名を完璧に記憶する目的に考案したものではありません。 著作権:渡辺眞佐美 info@watanabe-sr.net				
NO	主要人名	ゴロ合わせ	キーワード	補足
52	フェイヨル	フィヨルドは6種類の経営管理論	経営管理論	フランスの企業経営者。経営を技術、商業、財務、保全、会計、管理の6種類に分類。人間的側面に関心
53	フィードラー	ドラえもんはリーダーシップの条件に適合する	条件適合理論	leadership = f(leader, follower, situation)。3つの変数が高ければリーダーシップは発揮しやすい。
54	フランクフル	フランクフルトは自分で決める。ロゴセラピーにするか実存分析にするか	実存分析、ロゴセラピー	生きる意味⇒価値⇒創造、体験、態度、人間は自ら成長する存在、責任性と倫理性を重視。自己決定 生きているただ中で、自分を考えていける。人格は固定的なものではない。---精神分析や、行動主義は決定論(因果論的であるが)だがこれは固定的では無い
55	ブルーム	ブルームーンを期待してモチベーションを高める	期待理論	モチベーション=期待×誘意性
56	フロイト	フロイトの精神分析は快感が基本これ常識。現実原則、自由連想、対抗感情転移。	精神分析	発達課題での身体部位による快感の受け取り方が性格の中心的な元型の形成に重要。認知。 防衛機制の基本概念を提唱した。精神分析)、現実原則、作業同盟
57	ブロードマン	ブロードバンドで神経症114項目はいい、いいえでセンチメートル(CMI)で健康調査	CMI: Cornell Medical Index	他にアードマン、ヴォルフ。神経症。身体的自覚症状114項目+精神的自覚症状51項目。はい、いいえ。日本語版項目追加。
58	フロム	ナチスのフロムガスから逃走し、権威主義的パーソナリティ分析	権威主義的パーソナリティ	ドイツ→アメリカ。新フロイト派。「自由からの逃走」でナチス下のドイツを分析、社会的性格を見出した
59	ベネディクト	あかん「べー」!日本は恥の文化、西洋は罪の文化	菊と刀	アメリカの文化人類学者、西洋=罪の文化、日本=恥の文化
60	ポウルビィ	ポデービルのアタッチメントは親と子の結び付き	アタッチメント	親と子の情愛的な結びつきの研究、初期に形成されたアタッチメントが子どもの自己/他者/関係認知を形成
61	ホランド	オランダのVIPは心の構造6つに類型し、職業決める	心理学的構造理論、VPI	職業適性関連パーソナリティ:①現実的、②探求的、③伝統的、④芸術的、⑤企業的、⑥良心的。職業興味検査
62	ホルムズ	ホームズは43のライフイベントでストレスを測定した	社会的再適応評価尺度	ストレスは変化。Rレイと共に点数化。LCU(LifeChangeUnitValue)配偶者の死=100点、倒産=74、初婚=50など
63	マグレガー	マグレガーブランドはXY理論で人間信頼。テラーメイドはX理論で科学的管理	XY理論	Y理論:企業&個人目標の結合の原則、人間信頼論/労働は遊びや休息と同じ。X理論はテラーの科学的管理法 内発的動機重視。X理論は本来なまけ者、XY理論は人間は本来高い業績を上げたがっている。
64	マズロー	欲求5段階ではマズイロー(まずいだらう)	欲求5段階説	生理的、安全、愛情と所属、承認と自尊、自己実現
65	マックグレラント	マックで欲求達成の高い動機付け	達成欲求理論	高い達成欲求が自信に結びつく結果に関心を持ち責任を持つ。能動的&腕のたつ人+挑戦的課題=高い動機付け
66	マレー	マレーシアは欲求圧力理論でたんと(TAT)検査。ハーレーに乗りたいた欲求タント(TANT)ある	TAT、欲求圧力理論	行動=内的欲求+外的圧力。過去・現在・将来の欲求と圧力を知りパーソナリティ理解。CAT-H(7-10歳)、SAT(65歳~)。TAT:絵画・主題統覚検査(暗い少年の図):潜在的な衝動や葛藤を明らかにする。
67	ミード	ミート食べながらサモアの思春期研究	サモアの思春期	気質の性差は後天的。ニューギニア3部族比較。男女温和(アラペシュ)、ともに男性的(ムンドウグモール)、男女逆転(チャンブリ)
68	三隅二不二みすみじぶじ		PM理論	リーダーシップ状況の理論、集団はP(Performance:目標の達成)とM(Maintenance:集団の維持・強化)で動く
69	メイ	メイちゃんは実存主義的心理療法	実存主義的心理療法	新フロイト派の精神分析家、

以下の覚え方は、択一問題を前提に考案したものです。人名を完璧に記憶する目的に考案したものではありません。 著作権:渡辺眞佐美 info@watanabe-sr.net				
NO	主要人名	ゴロ合わせ	キーワード	補足
70	メイヨー	メンヨーの毛はホウセイ(縫製 ホーソン)工場でつぐむ	ホーソン実験	ハーバード大学、ウエスタン・エレクトリック社。人事相談制度。コミュニケーションが大切、面接が効果的。産力のはしり
71	モーガン	モーガンになったので、TATテストで欲求と圧力を知ろう	TAT	H.A.マレーと共にTAT(絵画・主題統覚検査)を開発。欲求と圧力からパーソナリティを知るテスト。
72	森田正馬	「森田は精神交互作用を絶ち、生の欲望を引き出す」	森田療法、生活の発見会	1920年代、精神交互作用を断ち生の欲望を引出す。実践に没入。神経質:不安神経症、心気症、脅迫神経症
73	矢田部,J.P.ギルフォード	フォードはYGテストで性格診断	YGテスト	120の質問、6因子+12の性格特性尺度
74	ユング	ユングといえば心の類型論。人生の午後はユックリ(ユングリと)	パーソナリティ類型論	態度×機能=(外交 内向)的×(思考 感情 感覚 直感)タイプ、ライフサイクル4段階。個性化。成人発達研究の祖。こころ=意識と無意識の全体。集合的無意識の気づき。無意識の持つ創造性。
75	吉本伊信	吉本興業は年代順に内観法	内観法	浄土真宗の求道方法に起源。生育史で重要な他者とのかわりを年代順に調べ、自己を内罰的に洞察。
76	ラザルス	トイザラスは高いので、脅威の概念を8種類のストレスコーピングで克服	ストレスコーピング、脅威の概念	8種類のストレスコーピング。ストレッサーに対する脅威としての認知評価がストレス耐性のレベルを左右する。
77	リッカート	リッカーミシンの管理システムは4つのコミュニケーションのリンクピンモデル	管理システム論	①独善的専制型、②温情的専制型、③協議的専制型、④集団参加型。コミュニケーションのリンクピンモデル
78	レビン	キャビン(レビン)内はグループリーダー誰にするか3つの葛藤	グループ・ダイナミクス /1940年代	ドイツ→アメリカ。場の理論。葛藤の3つの型、Marginalman(周辺人・境界人)
79	レスリスバーガ	レスリングで人間関係改善とホゾン(ホーソン)	ホーソン実験、人間関係論	メイヨーと共にホーソン実験、職場の人間関係改善で動機付け生産性を向上させる。
80	レビンソン	レビンソークルーソーは中年の危機	中年の危機(80%体験)	ライフサイクル=①誕生から死、②、人生には固有の特徴をもつ段階がある、4つの発達期と生活構造の関連。人生のある段階と段階との間に5年程度の過渡期という存在があり、過渡期において人は、生活構造の何らかの変化を体験することになると提示した。
81	ロジャーズ		来談者中心療法	エンカウンターグループ、自己概念、共感、自律+成長+成熟⇒自己実現傾向、全体成長を援助。現象学的。グループ・エンカウンター構成法は、各派の理論が折衷されているが、非構成法はロジャーズの理論。人格の統合=感情的意味付け、体験の感覚、問題に対する関係など7つのストランズが成熟で一本の木に。情緒
82	ローゼンツヴァイク	「バイク(ヴァイク)で欲求不満耐性強化とPFスタディ(言葉を書き込み、人格の傾向を明らかにする)24枚の絵」	欲求不満耐性、PFスタディ PFスタディは映画の図	非合理的反応(①攻撃、②退行、③固着)に陥らないためには、幼児期より適度な欲求不満体験+合理的解決の援助
83	ロールシャッハ		ロールシャッハ・テスト	10枚、言語的反応を多方面から分析検討。インクのしみを視覚刺激として提示
84	(米労働省雇用安定局)	ガットビは一般職業適性検査(特性因子論に基づく)」	GATB	General Aptitude Test Battery:厚生労働省編一般職業適性検査。11種類。合計所要時間50分
85	(WHO:世界保健機関)		ICD-10(1992)	神経症⇒(神経症障害、身体表現性障害、ストレス関連障害)。身体表現性障害には心気症や転換性障害を含む
86	(アメリカ精神医学会)		DSM-IV(1994)	神経症⇒(不安障害、身体表現性障害、解離性障害)。身体表現性障害には心気症や転換性障害を含む
87			オークリッジ	原子爆弾工場、社員寮付きカウンセラー
88			キャタピラー	心理学者によるカウンセリング
89			SDS	うつ性自己評価尺度——精神保健のスクリーニング

以下の覚え方は、択一問題を前提に考案したものです。人名を完璧に記憶する目的に考案したものではありません。 著作権:渡辺眞佐美 info@watanabe-sr.net				
NO	主要人名	ゴロ合わせ	キーワード	補足
90		産、指示、新泳法	THP6人衆	産業医、運動指導担当者、運動実践担当者、心理相談担当者、産業栄養保健指導担当者、産業保健指導担当者
91		「横串の類型論」(ユクグシ)	類型論	ユング、クレッチマー、グラッサー、シェルドン
92		「青木々の特性」(アオキギ)	特性論	アイゼンク、オールポート、キャッテル、ギルフォード
93	アージリス	味のあるリスは自己実現人、成熟に7つの過程	「新人間関係学派」 組織行動やマネ ジャーの学習の仕組み	アージリスはマズローの欲求階層説を基礎にして、人間は成熟の程度に応じて、それぞれ成長の方向に向かってみずからの欲求を表明し、労働の過程で自己実現を目指す「自己実現人」とであると仮定して、組織の中の人間行動を説明しようとした。アージリスは、人間が年を経て成熟する過程に7つの人格的な変化があると考えた。彼は自分の仕事に線引きをしない心がけており、研究活動、教育活動、コンサルティングのそれぞれに同じウェイトを置いている。彼は、この3つは相互に関係があり、互いに役に立つと考えている
94	アダマス	アダムとイブはストレスを上手にコーピング	ストレスコーピング	ストレスと生産性のグラフ。Coping:うまく対処すること。
95	アトキンソン	後で金(キン)損した。どう?期待 誘因する?	達成動機の強さ	達成動機の強さは、「動機」「期待」「誘因」の三つの要因によって規定されるとしている。(達成動機の強さ= 達成したいという動機 × 主観的成功確率 × 目標の魅力・誘因) 一般に、「現状では難しいが、がんばればなんとか達成できるかもしれない」と思える程度の目標に対して達成動機が高まるとされる。
96	アンナフロイト	あんなフロイトで、欲求不満解消できない。合近(合金)で防衛がいい。	防衛機制	失われた平衡状態を回復するために、「欲求」というのはたらきをするが、それが満たされなかったとき「フラストレーション(欲求不満)」となる。これを解決するための手段として、人間の心は3つの手段を用いる。 1. 合理的解決(理性によって現実的に考える) 2. 近道反応(欲求を衝動的に取り除く) 3. 防衛機制(自己防衛のための無意識のメカニズム)
97	イーガン	胃ーがんがみつきり、3つのステージでカウンセリング	カウンセリングの 3つのステージ	カウンセリングプロセスをステージⅠ～Ⅲの3つのステージに分け、さらにステージごとに3つのステップに分けて行っていくことを提唱している。 ステージⅠ:クライアントが目標設定と行動実現に向けての 展望を持ちながら 、自分自身や問題状況の理解をするために、「クライアントが話をできるようになること」、「問題状況の 焦点を合わせる こと」、「自分自身や問題状況の盲点を克服して、 新しい展望を持つ ことができるようになること」を援助する。 ステージⅡ:「この問題状況をうまく取り扱うことができる場合どのようなものになるだろうか?」を考えるために、「 新しいシナリオの作成 」、「 新しいシナリオの評価 」、「 選択と決意 」を行い、クライアントが想像力を働かせるように援助する。 ステージⅢ:クライアントがプログラムを実行するために、「 実行のためのストラテジー を見つけて 査定 すること」、「 クライアントが計画を立てること 」、「 クライアントが計画を遂行 できるようになること」を援助する
98	イエンシュ	胃炎で朱色にそまる。色で性格現れる。	類型論直観像による分類	好む色によって性格に違いが現れることを指摘しています。彼は赤・オレンジ・黄色などの暖色系を好む人は積極的に社会に適應しようとする 客観的外向型 であるとし、対して青や白といった寒色系を好む人は自分の世界に閉じこもりがちで、 主観的内向型 であると分析した。
99	ウィリアムソン	ウィリアムソンは、人と仕事のスキルと能力をマッチング。特性一因子的カウンセリング	特性因子理論的カウンセリング	特性因子理論的カウンセリング「個人の持つ仕事に関するスキル・能力と、それぞれの仕事が必要とするスキル・能力をマッチングすることによって、よい職業選択や職業適応はもたらされる。」 人の個性や適性は開発され・発見され・測定される

以下の覚え方は、択一問題を前提に考案したものです。人名を完璧に記憶する目的に考案したものではありません。 著作権:渡辺眞佐美 info@watanabe-sr.net				
NO	主要人名	ゴロ合わせ	キーワード	補足
100	ウエルシュ	ジェームズディーンと一緒に、精神衛生協会にマイヤ様の樹を植えるシュ(ウエルシュ)	精神衛生協会	1908年にマイヤー、ジェームス等と協力しコネチカット州精神衛生協会を設立し、「精神衛生運動」の中心人物であったピアーズが会長に就任するのに尽力した。
101	カーカフ	カーを買う(カーカフ)のでヘルピング	ヘルピング法	『ヘルピング法』を提唱した。カーカフはあえてカウンセリングという表現をとらず「ヘルピング」と命名している。ヘルピーとヘルピーは同じ仲間同士であるとの思想である
102	ギンズバーグ	就職時期の前に、きんつば(ギンズバ)パク(バーグ)とってからに様々な選択、空想、暫定、現実	キャリア発達理論	職業選択が就職の時期だけになされるのではなく、それ以前にも将来の職業に関するさまざまな選択や決定がなされ、最終的にそれが実際の選択に続くものだとした。職業選択のプロセスを「空想期(fantasy stage)」「暫定期(tentative stage)」「現実期(realistic stage)」の3段階とした。
103	クライツ	キャリア成熟の準備ができたなら、食らいつく	キャリア成熟	キャリア発達理論の中心的な概念であるキャリア成熟は、クライツによって最初に使用されました。キャリア成熟とは、達成すべきキャリア発達課題に対して個人がどの程度取り組む準備(レディネス)ができているかということです。職業的成熟をスーパーのあと引き継いだ。
105	ケイス	キャタピラープログラムのケースを学ぶ	キャタピラー・プログラム	1943年にドーカスとともに「キャタピラー・プログラム」において職場不適應の改善と災害防止等に大きな効果が認められたと報告した。
106	コフト	自己愛はコフーなひとで自己心理学的的精神分析	自己愛研究。心理療法	自己愛研究や間主観的アプローチの端緒を開いた。自己愛性パーソナリティ障害の研究に先鞭をつけたことでも知られる。心理療法—自己心理学的的精神分析
107	コスタ	ジェットコースターでNEOPI(ねおび)	NEO-PI	「5因子論」をもとにマックレーとNEO-PI(後に「NEO-PI-R」に改定)を作成した。
108	シェイダー	イダー！ブリーフセラピーやってる人。解決が先決だ。	ブリーフセラピー SFT: Solution Focused Therapy	BFEC(Brief Family Therapy Center)において、J.K.バーグと共に開発。問題の探求は最小限、解決に焦点。ブリーフセラピーの先がけは、1966年にMRI(Mental Research Institute)が発足したブリーフセラピーセンター。
109	ジェームズ	ジェームズディーンと一緒に、精神衛生協会にマイヤ様の樹を植えるシュ(ウエルシュ)	精神衛生協会設立	アメリカの哲学者、心理学者。1908年にマイヤー、ウエルシュ等と協力しコネチカット州精神衛生協会を設立し、「精神衛生運動」の中心人物であったピアーズが会長に就任するのに尽力した。
110	シェルドン	ジェームズディーンと一緒に、精神衛生協会にマイヤ様の樹を植えるシュ(ウエルシュ)	生物学的基礎による類型論	パーソナリティの類型を体質的、生物学的な基礎に求めた
111	シャイン		キャリア・アンカー	キャリア・アンカーを「管理能力」「技術的・機能的な能力」「安全性」「創造性」「自律と独立」「奉仕・社会献身」「純粋な挑戦」「ワーク・ライフバランス」の8つに分類した。時にはいくつかの発達課題が同時に出現する場合もあると述べている。
112	シュプランガー	主プランが(シュプランガー)価値観で6つのタイプに別れる。	価値観によって6つのタイプに分類	人間を価値観によって6つのタイプに分けている。理論的人間、審美的人間、経済的人間、宗教的人間、権力的人間、社会的人間

以下の覚え方は、択一問題を前提に考案したものです。人名を完璧に記憶する目的に考案したものではありません。 著作権:渡辺眞佐美 info@watanabe-sr.net				
NO	主要人名	ゴロ合わせ	キーワード	補足
113	シュロスバーグ	シュロスバーグをいえば、トランジションを4Sで克服。	トランジション(転機)。 4S	人生はトランジション(転機)の連続からなり、人のキャリアは、それを乗り越えるプロセスを経て形成されていくとし、トランジションを乗り越えるための対処法(4-Sモデル)を提唱している。トランジションが起こると、①役割(ライフ・ロール)、②人間関係、③日常生活、④自分らしさ(自己概念)の変化などが起きるとし、まずは、自分が転機に入ったことを受容することが大切だとしています。トランジションを乗り越えるためのフレームワーク4-Sモデル 4-S: 状況(シチュエーション)・自分自身(セルフ)・支援(サポート)・戦略(ストラテジー)。 トランジションの視点には、認知的評価やストレスコーピングなどの考え方も含まれる
114	ジョーダン	成探しても確維下降なんて冗談(ジョーダン)な発達段階	職業発達段階	1.成長段階、2.探索段階、3.確立段階、4.維持段階、5.下降段階
115	タフト	あたふたと(タフト)昨日(機能)個別援助したよ	機能主義	機能主義個別援助技術の初期の論者の一人であり、援助者がそれぞれの「機関の機能」を代表して援助するという視点を提示した 来談者中心療法のロジャーズに影響を与える。
116	ドーカス	キャタピラーくん、職場不適應でもどーか捨(ドーカス)てないで	職場不適應の改善	1943年にケースとともに「キャタピラー・プログラム」において職場不適應の改善と災害防止等に大きな効果が認められたと報告した。
117	ドラッカー	ドラッグストアの経営マネジメント	マネジメント	「現代経営学」あるいは「マネジメント」(management)の発明者
118	ニール	新教育運動の教育家		「子どもを学校に合わせるのではなく、学校を子どもに合わせる」
119	ニコルソン	二個のルソン島で、準備中遭遇したが、順応し安定した(準遭順安)循環型モデル	仕事におけるトランジション 循環型モデル	ニコルソン(Nicholson, N.)のトランジション論。仕事におけるトランジションに焦点を当てて、準備・遭遇・順応・安定化の4つの段階からなる循環型モデルを示した
120	バーグ	パートゲー(バーグ)だけでは短期な解決志向	解決志向短期療法	「解決志向短期療法」創始者の一人。 ド・シェイザーの妻。
121	ハーシー	「SLの4つの席で食べるから箸(ハーシー)持って来い」とリーダーがいう。	SL理論	リーダーシップ条件適応理論。 ・マネジメントする人間がどのようなリーダーシップを取るのが望ましいかというのは部下の成熟度によって有効なリーダーシップスタイルが異なるという考え方。 ・フィドラーのコンティンジェンシー・モデルの状況要因を掘り下げて、部下の成熟度に着目して提唱された。状況対応型リーダーシップを提唱した。 ・縦軸を仕事志向、横軸を人間志向の強さとして4象限(参加的・委任的・説得的・教示的)に分け、それぞれの状況でリーダーシップの有効性を高めていくにはどうすれば良いかを示している。
122	ハーシェンソン	は一、シャンソンに行っても、5つの発達段階で謝辞有るが、独占してる(社、自、有、独、専心)	職業的発達段階によるカウンセリング	クライアントが5段階の職業的発達段階のどこにあるかでカウンセリング方法が異なる 1.社会的共生期、2.自己分析期、3.有能期、4.独立期、5.専心従事期
123	パブロフ	パブロフのレスポンス	条件反射	「パブロフの犬」、条件反射、レスポナント条件付け
124	パットンとロビンズ	バット(パットン)持ったロビンソンクルーソー(ロビンズ)の野心と自尊心がキャリアエネルギー	自己発達モデル 野心と自尊心 ロビンズも同理論	職業的自己概念の発達の説明に、自己の発達モデルを適用した。 キャリア計画の実現には計画を実行するエネルギーとして、野心と自尊心がキャリア発達を促進する。

以下の覚え方は、択一問題を前提に考案したものです。人名を完璧に記憶する目的に考案したものではありません。 著作権:渡辺眞佐美 info@watanabe-sr.net				
NO	主要人名	ゴロ合わせ	キーワード	補足
125	ハルトマン	春とマンタは能動的な自律自我 自我心理学体系化	自我心理学の理論的な体系化	自我心理学の理論的な体系化に尽力した。自我の現実適応機能と自我防衛機制によって詳細な研究を行ない、『受動的な防衛自我』以外にも『能動的な自律自我』が存在することを主張し、エス・超自我(無意識)に依存しない自我心理学の体系化に大きな貢献をした。
126	ハンセン	帆船に「愛が良し」(愛、学、余、仕)の4つのL掲げて意味ある全体	4つのL	人生は、仕事、学習、余暇、愛(Labor, Learning, Leisure, Love)の4つの要素がうまく統合されてこそ「意味ある全体」になるというもの
127	ピアジェ	セピアなジェットは4段階の思考発達段階で最後は形式的操作	思考発達段階説	感覚運動期(0~2歳) 感覚と運動が表象を介さずに直接結び付いている時期。 前操作期(2~7歳) ごっこ遊びのような記号的機能が生じる。他者の視点に立って理解することができない。自己中心性の特徴を持つ。 具体的操作期(7~12歳) 数や量の保存概念が成立し、また、可逆的操作も行える。 形式的操作期(12歳以降) 形式的、抽象的操作が可能になり仮説演繹的思考ができるようになる。
128	ピューイ	目標と意思決めてピューっとシステムティックアプローチ	意思決定モデル	システムティックアプローチ提唱 わかる(技能)できる(習慣) その気になる(意欲)システムティックアプローチ 目標設定→意思決定→学習方策→自己管理方策→包括的折衷的カウンセリング
129	ヒルトン	ヒルトンホテルで行動経済学び、キャリア意思決定論ずる	行動経済学	行動経済学的な観点からキャリア意思決定を論じている
130	フェスティンガー	フェスティバルは認知的不協和理論沸騰	認知的不協和理論	獲得した認知間に食い違いや矛盾が存在すると(不協和関係)、それを低減するように動機付けられるという理論。フェスティンガー時代から、認知的不協和理論の研究では行動と情報の不協和関係に特に注目してきた。 「行動=タバコを吸っている:情報=タバコは身体に悪い」
131	ブランチャード	ランチで4つのSL理論使い分け、コーチへの援助の委任を指示した	実践指導法 状況対応型リーダーシップ理論	状況対応型リーダーシップ理論(Situational Leadership)。SL理論のいいところは、極端に振れてしまうのを抑えることができることにある。4つの基本的なリーダーシップ・スタイルを「指示型」「コーチ型」「援助型」「委任型」に分類し、部下の「コンピテンス」と「コミットメント」に合わせて使い分けていく。 リーダーシップをリーダーの側からだけでなく、リーダーと部下のレベル(成熟度)との関連で研究し、状況対応型リーダーシップを提唱した。
132	ブリッグス	MBTIのマイヤーズとブリッグス	MBTI	娘のマイヤーズとともに、ユングの類型論をもとにした「MBTI」を開発した。
133	ブリル	ブリっと快樂は現実的に昇華	快樂原則と現実原則 +昇華	フロイト理論に基く。職業選択行動も根源的には快樂原則と現実原則+昇華で説明
134	ブロード	テクノストレスをプロットする	テクノストレス	コンピュータなどIT機器の利用やインターネットの利用によって生じる精神的ストレスを『テクノストレス(technostress)』と呼んだ
135	ボーデン	レディボーデンアイスクリームを乳幼児の時に食べたかったという衝動が青年期の職業選択に影響していたのには驚きだ。	乳幼児期に獲得された衝動満足パターン	乳幼児期に獲得された衝動満足のパターンが青年期以降の職業選択行動を、無意識的に決定していると考えた
136	ホーナイ	フロイトを批判して、ホータイ巻いて自己分析した女性精神分析家	自己分析	女性精神分析家、フロイト説を批判・修正。自分自身の性格を改造する必要を痛感する。

以下の覚え方は、択一問題を前提に考案したものです。人名を完璧に記憶する目的に考案したものではありません。 著作権:渡辺眞佐美 info@watanabe-sr.net				
NO	主要人名	ゴロ合わせ	キーワード	補足
137	ホリングワース	ホー！！ リングワースは第2反抗期で心理的離乳ですか	心理的離乳	心理的離乳とは、発達段階(青年期)において、それまでの両親への依存から離脱し、一人前の人間としての自我を確立しようとする心の動きのこと。第2反抗期とも言われ、親との葛藤・親への反抗といった強い分離不安を伴うもので、精神的に不安定になりやすい。甘えの雰囲気のある強い家庭では、様々な家族問題を引き起こしたりするが、同じ苦悩を共有する友人との相互依存関係を通して、漸次的に克服されていくのである
138	マーラー	マラが成長すると分離-固体化する	分離—固体化	M. マーラーはフロイトの精神分析における発達段階理論の口唇期から肛門期にかけての自我の発達について母子の異着の面から乳児が母親との一体感から徐々に分離していく過程(生後5月から36月)を「分離—固体化」と呼び母親との正常な自閉期(0-1月)・共生期(2-4月)を経た後での過程を4つに分けこれを「分離-固体化理論」として提唱した。
139	マイヤー	ジェームズディーンと一緒に、精神衛生協会にマイヤ様の樹を植えるシュ(ウエルシュ)	精神衛生協会設立	1908年にジェームズ、ウエルシュ等と協力しコネチカット州精神衛生協会を設立し、「精神衛生運動」の中心人物であったピアーズが会長に就任するのに尽力した。
140	マイヤーズ	MBTIのマイヤーズとブリッグス	MBTI	母のブリッグスとともに、ユングの類型論をもとにした「MBTI」を開発した。
141	マクレランド	マックくれるランドで遊び親権者達の(親和、権力、達成動機)欲求満たす	欲求理論	モチベーション理論の一つ。作業場における従業員には、達成動機(欲求)、権力動機(欲求)、親和動機(欲求)の3つの主要な動機ないし欲求が存在する、という理論。達成欲求(意欲)の強い人の特徴は個人的な達成感を求める傾向が強いので、一般的には達成不可能と思える目標に対しても挑戦する意欲は高い。
142	松原達哉	松原でLAC作って、生活分析し意欲出す	生活分析的 カウンセリング	『生活分析的カウンセリング(life analytic counseling)』である。『LAC法』とも呼ばれるが、高校生以上の学生を対象にしている。クライアントの人生・生活全体を詳しく丁寧に分析して振り返っていくが、自発的に自分の人生(生活)の目的(やりたいこと・やるべきこと)を設定して、意欲的に目的の達成に取り組んでいく実践性に最大の特徴がある
143	マルシア	マルシアは青年期のアイデンティティを4つの状態で捉えるてマルくれる	青年期における アイデンティティ形成	エリクソン(Erikson, E. H.)の発達理論をベースとしつつも、青年期におけるアイデンティティ形成は「達成か未達成か」ではなく、 同一性達成、モラトリアム、予定型、同一性拡散 の4つの状態像から捉え得ることを提示した。
144	メスメル	メスメルいかにも動物磁気で催眠術	動物磁気	動物磁気(magnétisme animal, en:Animal magnetism)と呼ばれるものの提唱者。メスメルは動物磁気と呼んだが、メスメル概念と実践の発展が、1842年のジェームズ・ブレイドによる催眠術の開発をもたらした。メスメルの名前は英:mesmerize(催眠術をかける)の由来となった。
145	ライチャード	笑いチャード(わライチャード)高齢期の適応状態の5つのパターン	高齢期の適応状態の パターン	高齢期の適応状態のパターンを、下記の5つに区分した。 「円熟型」・「安楽椅子型」・「装甲型」・「憤慨型」・「自責型」 円熟型の方は、高齢になっても、統合されたパーソナリティを保持しており、柔軟性・融通性・弾力性を保ち、社会によく適応しているという
146	ル・センヌ	ゆるせん(ゆるセンヌ)イメージだけの上(情)カツの類型	パーソナリティ類型論	情動性、活動性、イメージの保持性による類型
147	ロー	苦勞(ロー)する環境との相互作用での早期決定論	早期決定論	早期決定論:(ロー)家庭環境・親の養育態度から職業の選択につながる。個人が遭遇する人的、物的環境との相互作用に依存している。